

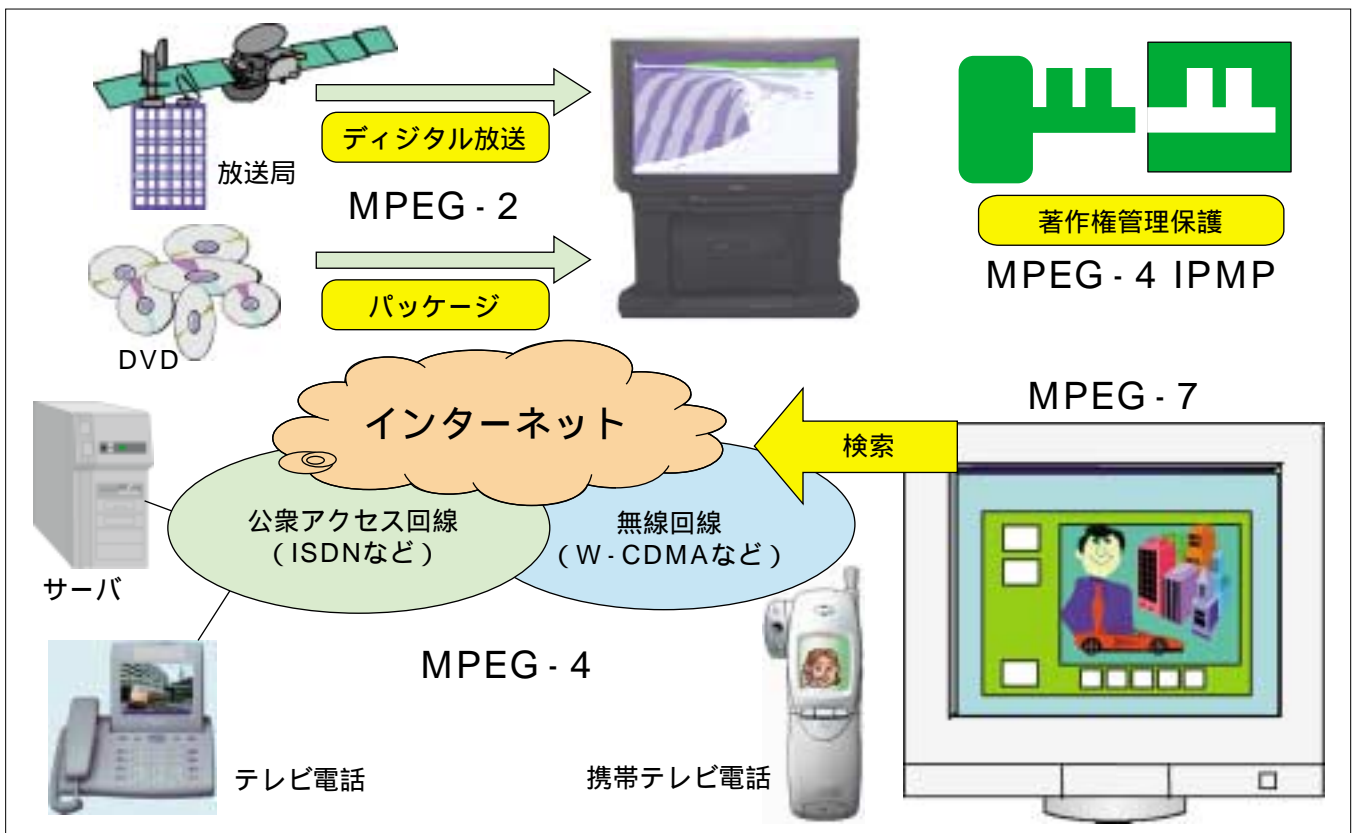
マルチメディア情報流通を支えるMPEG技術

浅井光太郎*
加藤嘉明*

要 旨

MPEG(Moving Picture Experts Group)はマルチメディアの核となる技術である。これまで標準化されたMPEG-1/2/4は、コンテンツの圧縮・蓄積・伝送を実現する技術規格と言える。これらの標準は通信・放送にわたる有線及び無線伝送やビデオCD、DVDビデオなどのパッケージをカバーしており、最新のMPEG-4では、携帯電話によるコンテンツサービスや半導体メモリへのストレージまでも現実にしつつある。この規格化活動に、三菱電機は

技術提案、国際共同実験、検証データ提供、実用化促進などの形で貢献している。現在MPEGでは、コンテンツの著作権管理保護を可能にするIPMP(Intellectual Property Management and Protection)、メタデータを用いてコンテンツの特徴や構造を記述するMPEG-7などの検討を行っている。こうした技術の確立を前提とし、コンテンツの電子流通を検討するMPEG-21の活動も始まっている。



マルチメディア情報流通を支えるMPEG技術

マルチメディアコンテンツの圧縮・蓄積・伝送にMPEG標準が使われている。